

物流におけるCO₂削減活動(エコロジス)

林田一徳*

CO₂ Reduction Activity in Logistics (Economy & Ecology Logistics)

Kazunori Hayashida

要 旨

三菱電機グループの物流部門は、エコロジス(エコノミー&エコロジーロジスティクス)活動を展開し、製品物流(輸送)で排出される二酸化炭素(CO₂)の排出量削減に向けて諸施策を実施している。主な施策としてモーダルシフト(トラック輸送から鉄道・船舶輸送への切り替え)や、輸送距離短縮・積載率向上等に取り組んでいる。鉄道輸送の導入に当たっては、物流品質、コスト、積載効率、また製品形状・高さなどの制約を受ける場合があるが、これら課題の解決を図りながら推進している。一方、グローバル化の急速な進展に伴い、国際物流も含めた物流への環境対応も不可欠であり、この分野においても新たな方式を見出して実施に至っている。

今後は、これまで推進してきた諸施策の水平展開と、創意工夫による新たな施策への積極的な試みを図るとともに、輸送におけるプロセスの見える化でムダを徹底排除することで、物流改善とCO₂削減を結び付けた活動を強化していく。

2006年4月に改正省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)が施行され、輸送部門(荷主と輸送事業者)におけるCO₂排出量の把握とその削減が義務化された。環境に対する企業の社会的責任は一層重要性を増し、より具体的な行動が求められている。当社グループでは環境貢献企業として、“地球温暖化防止(CO₂削減)、すなわち持続可能な社会づくりに向けて、積極的に取り組み、その責務を果たしていく。

物流におけるCO₂削減活動(エコロジス)

<モーダルシフト(鉄道輸送)の推進>

1. 31ftコンテナの利用



3. 海上輸送と鉄道輸送の組み合わせ(輸入物流)



2. 積載量の確保・向上



4. “エコレールマーク取組企業”認定



“エコロジス”活動

“エコロジス”活動とは、“Economy & Ecology Logistics”活動で、物流改善と環境負荷低減活動をリンクし、“コストミニマム環境対応型ロジスティクスシステム”の構築を目指すものである。

*本社